

はぎやま

令和八年 三月二十日発行

第一六二号

東京都立萩山実務学校

東村山市 萩山町一・三七・一

☎〇四一(三四一)六〇一一

援・恩・温

児童自立支援専門課長 鈴木義憲

「萩山の子供たちとは一緒に野球をやりましたよ」。ハンセン病の回復者であるH氏の言葉です。遠くを見つめるようなまなざしで懐かしそうに語られていました。東村山市内にあるハンセン病資料館を高等部児童と訪れた時のことです。平成十三年の春のことでした。同じ年に萩山分校が開校しています。

萩山分校の開校から今年度で二十五年になります。『学校が嫌でここに来たのに何でまた学校に行かなきゃならないんですか』。当時中学二年生だったTさんは翌年の分校の開校を知ってそ言いました。ところが開校後の感想はこうでした。勉強って楽しいんですね。萩山分校創設のねらいの一つが表現されたようでした。

平成十年の改正児童福祉法によって児童自立支援施設」と施設の名称が変わりました。同時に子供たちを学校に通わせることもはじめて義務付けられることになりました。東村山市は平成十二年度に本格的

な開設準備に取りかかりました。開設準備担当のS先生(後に中学校長)は施設の取組を詳細に分析されました。毎晩遅くまで教育委員会で協議を重ねられたと聞いています。『手がかかる子供たち』ではなく『手をかけてあげなければならぬ子供たち』なんです。S先生の温かな想いは今も分校の教育に生き続いています。

今年度は施設の職員研修としてハンセン病資料館を訪れました。計三回で延べ四十四名が参加しています。なお子供たちは分校開設時から教員と毎年訪れています。もちろん引率としてこれまで多くの職員も訪れました。しかし職員研修として訪れたのはこれが初めてです。暮らしの様子や人権回復の過程がていねいに説明・展示されていきました。中でも気になったのは子供たちの暮らしと教育です。

多磨全生園では昭和六年から全生学園という名称で元教員の患者たちが子供たちの教育に当たっていたそうです。その後昭和二十八年に公立小中学校の各分教室が開設されています。東村山町(当時)教育委員会が厚生省(当時)と東京都教育委員会に認可を申請しました。その理由には

子供たちの進学と社会復帰があげられています。また 園および児童・生徒の特殊環境」に即して授業が行われたとの記録もあります。昭和四十一年には教員が増員されています。さらには遠足や社会見学などの外出行事の実施も予算化されたそうです。そして昭和五十年と五十四年には子供が不在となったことで小中学校の分教室はそれぞれ閉校となります。卒業したほとんどの生徒が社会復帰をしいったそうです。

環境も時代背景も当時と今とは大きく異なります。そうであっても東村山市が子供たちに良質な教育を提供しようとしてきたことがここから伺われます。萩山分校の開校にも東村山市の教育スピリットがどこかで生きていたものと考えます。

萩山分校では開校の初年度からサマースクールが設定されています。夏休みの間も分校が子供たちに授業やクラブ活動の機会を提供してくれるものです。子供たちは生活リズムを保ちながら多様なプログラムを体験することができます。ハンセン病資料館の見学はその期間に設定されています。子供たちが訪れると回復者のH氏

が都合をつけて出迎えてくれます。温かな笑顔で「萩山の子供たちは大好きです」と言って握手をしてくれます。H氏は後遺症で手が変形して神経も麻痺していることを子供たちに伝えます。子供たちは次々と握手をしながらこう言います。

「Hさんの手『温』かいです」と。萩山分校には副校長他十三名の教員と三十一名の時間講師が在籍しています。同じ教室で同じ授業を受けながらほぼ個別に近い教育を受けることができます。そのため能力別クラスはありません。(ちなみに当施設では分校開設以前も能力別クラスはありません)。子供たちは能力で分けられることも学力で比較されることもありません。このことは子供たちの心理的安全性の保障につながっています。

萩山実務学校は昭和十四年にこの地に根をおろしました。東村山市との縁にあらためて恩を感じます。また良質な教育を変わらず提供していただける東村山市教育委員会に感謝せずにはいられません。

子供たちの人生に関わらせていただき学び成長・変化できたすべての皆さまに感謝の気持ちをこめて。 弥栄

第三回鑑賞教室

十一月三十日に腹話術のショーがありました。

一寮 Tさん

その方の腹話術は、パペットが生きているかのような素晴らしい音があり、アシスタントの方のギターも、パペットの歌とあっていて良かったです。

最初、僕は「パペットのおしゃべり」と「ギター之音」がどうつながるのかが分からなかったです。しかし、聞いていくと、そのパペットたちの世界に入ったような気持ちになりました。パペットたちも本当に個性豊かで、それぞれがとても面白くて楽しいパペットたちでした。

本日は「腹話術の技の伝授」や「人生のお話し」、そして僕たちの質問など、いろいろなことをしていただきありがとうございました。また、僕の「パペットの設定について」の質問にも答えていただきありがとうございました。

二寮 Oさん

ぼくは、腹話術は初見なので、すごく面白かったです。

特に、パペットのコジローが「ワワイイな」と思いました。また「なんかいいキャラクターだな」と思いました。そして、

話し方が面白くて、なんか好きになりました。

その他のパペットも、とぼけたやり取りがあり、個性があふれていて良かったです。また見たいと思いました。来ていただいてありがとうございました。



三寮 Hさん

初めて見るものでした。すごかったし、おもしろかったです。また見たいです。

本当に、人形がしゃべっているみたいで、すごかったです。コジローさんのところが一番、おもしろかったです。

一人で、高い声や低い声、明るい声、暗い声、かすんだ声と色々な声を出している。「とてもすごい」と思いました。まるで人形が生きているかのように見えました。人形の声に、動きもしっかり合っていました。色々な性格の人形がいて、どれもとてもおもしろかったです。ギターも、すごかったです。

第四回鑑賞教室

十二月七日に音楽によるコンサートがありました。

四寮 Hさん

クラシックは普段聴かないのですか、今回は知っているような曲を選んでくださったので、いくつ知っている曲もありました。

特に『Amazing Grace』は音楽の授業でも歌っていたので、一緒に歌うことができ、とても楽しかったです。

質問コーナーの際、一番高い声を出してもらった時は「人はこれほどまでに高い声を出せるんだ」と、とても驚きました。僕もたまに歌を歌うときがあるので、高い声を出すときは、参考にさせていただけたいです。改めて、本日は歌を聞かせていただき、誠にありがとうございました。



五寮 Tさん

僕は歌を歌うのがあまり好きではなかったんですけど、今回の鑑賞教室のおかげですこしだけ好きになりました。

『猫の二重唱』は初めて聞く曲でした、どういう曲なのか分からなかったんですけど、いまもわからないままです。でも、おもしろくて頭に残っています。皆で歌った『アメイジング・グレイス』も、とくに印象に残りました。

日本の『四季メドレー』は、知っているものもあったし、初めて聞くものもあったので、特にいいなあと思いました。

最後のピアノもすごく「どうやってそんなに速くできるのか」と気になりました。

最後に、僕たちの色々な質問を聞いていただき、音楽のおもしろさも教えてくださいありがとうございました。



四寮 Mさん

今回の鑑賞教室に来てくださりありがとうございました。人があんなに高い声を出しているのを初めて聞きました。

僕は、音楽は好きですが、こういうジャンルはあまり聞いたことがありませんでした。でも、今回の鑑賞教室で少し聞いてみたくなりました。

また、アンコールで『COSMOS』を歌ってくれた時には 百分とレベルが違う」と思ったので、もっと歌を練習したいと思いました。

けやき寮 Nさん

よく歌われるような歌でも、

「歌い方や歌う人の声などにより、曲ってすごく変わる」

「個性が出て、楽しく聴ける」と改めて感じました。

今回は、色々な曲が聴けて、すごく楽しかったです。ただ、逆に「ピアノの難しさ」や「声の出し方」や、そして「喉のケア」の事などを知って、すごく大変なんだと思いました。

人それぞれ「できるもの」や「できないもの」はあると思います。だから、「私は何ができるのか」っていうのを見つけてがんばっていききたいです。

声楽によるコンサートは見た事がなく初めての鑑賞でした。今回は、参加型で自分もとても楽しめたので、機会があれば「また行きたいな」と思いました。

そして、ピアノやギターなども、機会があれば勉強して自分で弾けるようになって、周りの人たちを楽しめられるようになりたいなと思いました。



第五回鑑賞教室

一月二十六日にオーケストラの方々に来ていただきました。

二寮 Iさん

最初から最後の曲まで、とても楽しめました。アレンジが入っている曲は「何の曲が入っているのか」「どのように加わっているのか」、そのように考えて聞くことがとても楽しかったです。

ゲームの曲やアニメの曲、少し前に有名になった曲など、よく耳にするものが多いので、すぐに曲を聞くことに集中することができました。

他には、ペットボトルやフライパンなど一つ一つを楽器にするにも色々考えられ

ていました。色々な使い道があったのだと考えると、地道な努力がかっこいいと思います。

一つ一つの楽器と、そのペットボトル達がちゃんと綺麗に交ざっていました。目立たず、それでも、その曲を際立てせる事に感動しました。本当にかっこよく、綺麗な曲でした。

五寮 Iさん

今回の鑑賞教室はとても楽しかったです。理由は、一人ひとり、一つ一つの楽器を使い慣れているからこそ出せる「きれいな音」での演奏がとても美しく、あとは、六人の息の合った音、リズムがあってすぐだったからです。

演奏してくれた曲の中には、聞いたことがある曲がいくつかあって、つい心の中でリズムを刻んでしまうような演奏でした。例えば『お化けなんてないさ』という曲では、みんなが知っている『おばけなんてないさ』ではなく、アレンジがされていて、初めて聞く曲のような気持ちになりました。

そして、ペットボトルに空気を入れて演奏するときには、空気の量で音の高さが変わることを詳しく教えてくれました。とても楽しかったです。また来てほしいです。



かしわ寮 Oさん

私は初めてオーケストラの演奏を観られたので、すごく良い体験になったと思います。

最初の『冬』は、バイオリンがすごく忙しそうで「大変そうだな」と思いましたが、とても綺麗な音色で感動しました。私もバイオリンを弾いてみたいです。

『レスギンカ舞曲』も、すごい迫力があってドキドキしました。よく弾けるなど思っただし、やっぱりバイオリンは忙しそうでした。

あと私が「いっちゃん、すごい！」と思ったのは『うまびよい伝説』です。フルートがすごく高い音だらけだったし、肺の心配がすごかったです。

あとベースのスラップ!!
もう私、ベースが大好きだから、ものすごくトキメキました。機会があれば、是非、私のお気に入り曲のスラップベースも聞いてみたいです。



三寮 Kさん

僕がめっちゃ面白くて心に「グッ」と来たのは『零ノヴィバルディ』で、心が躍っていました。『道化師のギャロップ』とかいろいろな曲もあり、楽しくなったり落ち着いたり、いろいろな感情が出ました。一番「グッ」てきたのは『鉄腕アトム Jazz』です。楽しさがあって、生で聞いたので、すごく迫力があって面白かったです。

もう一つ面白かったのは、『おぼけなんてないさ』という曲です。また、『すごい』って思った曲は、『剣の舞』、『レスキンカ舞曲』が好きで心に残ったし、頭から離れなかったので印象が残りました。

関東少年卓球大会

十二月十二日に茨城県にて関東少年卓球大会が開催されました。

三寮 Mさん

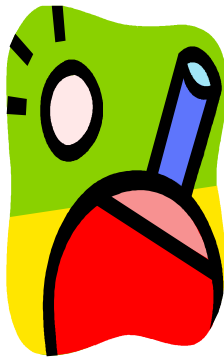
僕は関東少年卓球大会を通して、学んだことが二つあります。

一つ目は、スポーツに真剣に取り組む大切さです。スポーツに限らずに色々な事に

対しても言えることです。とても良い学びになったと思います。

二つ目はスポーツを通して仲間と関わる楽しさです。今回の関東少年卓球大会もですが、これは色々なスポーツでも言えることです。この感情は大切にしたいと思います。

今回、学んだことの多くは、この先、萩山を退所してからも生かせることでした。この経験を忘れずに、将来に生かすことができると思います。



飛翔を楽しむ会

一月七日にグラウンドにて「飛翔を楽しむ会」が開催されました。

一寮 Sさん

一月七日に「飛翔を楽しむ会」がありました。最初は「なんで紙飛行機？」とか思いながら紙飛行機を作っていました。そして「いざ飛ばすぞ」ってなった時、紙飛行機はあまり飛びませんでした。

けれど、周りの人はすごく飛んでいて、なぜかちょっと悔しくなったので、本気で

飛ばすことにしました。しかし、飛ばす時にゴムが手にあたってしまい、泣く程痛かったです。けれど、切り替えて、何か目標を掲げて飛ばすことにしました。

ただ、目標らしい目標もなかったので「世界平和」を掲げて飛ばしました。世界も平和であってほしいけれど、寮や萩山のみならず平和に楽しく生活できたいいなと思いました。

僕も来年受験生になり、大変になると思います。ここで頑張つて、将来大きく飛躍できたらいいなと思います。



百人一首を楽しむ会

一月九日に体育館にて「百人一首を楽しむ会」が開催されました。

さくら寮 Sさん

私は昨年より、百人一首への取り組みのなかで、より多くの知識を身につけ、色々な視点での楽しみ方を学ぶことができました。

一つ一つの歌を覚えていくなかで、自分が好きと思う歌を見つけれられるのは、百人

一首の取り組みをしていくなかでのモチベーションにもなると思いました。

そして、歌にもじっくり耳を傾けてみると、その歌の風景を想像することができて、さらに百人一首を楽しんでいる感じがしました。

私は萩山で初めて百人一首をしました。取り組みをしていくなかで、どんどん百人一首を好きになりました。これからも、自分なりの楽しみ方を活かして、百人一首を続けていけたらいいなと思います。



萩山駅伝を楽しむ会

一月二十一日に萩山駅伝を楽しむ会が開催されました。

二寮 Sさん

私は駅伝を楽しむ会に参加をして、思い出に残っている気付きが二つあります。

一つ目は、目標に向かって努力することでの達成感です。

私は今まで、努力を継続するだけでした。しかし、駅伝での「個人の部」で自己ペース

トを更新できたことで、目標を達成する喜びに気付かされました。

二つ目は、走ることには感情が大きく関係しているということです。

事前に走った時の記録は、6分弱でした。しかし、本番では、応援をしてくれる人達のおかげで、4分43秒という記録を残せました。

この二点が私の思い出です。



剣道一級位審査会

二月八日東村山市剣道連盟主催による
剣道一級位審査会が行われました。

六寮 丁さん

僕は剣道の一級位審査に合格しました。
楽しかったし、うれしかったです。

その日は、気圧も低く、朝から大雪が降
っていて大変でした。それは道中、歩道の
横に生えている木から雪が落ちてきて、視
界が急に白くなったからです。そして、雪
は眼鏡にもついてしまいました。

審査会に向けては、練習の時も、そして
審査の時も先生方が丁寧に教えてくれま
した。

会場では、受験する人が想像するより多
くてびっくりしました。「実技」の前、すこ
く緊張していました。また、僕は大人と「形」
をしました。その方の声は、すごく大きか
ったです。だから余計に緊張しました。そ
して、組んでみると「天人のパワー」を感
じました。

審査会後、東村山市の剣道連盟の会長が
僕たちにやさしく声をかけてくれました。
合格した後、今回受験をした事で「剣道
ができるようになった」「そして、それが
証明された」と思いました。

寮に帰って寮の先生に報告したら、す
ごく褒めてくれました。



卒業生へ贈る言葉

四寮 一さん

三年生の皆さん、ご卒業おめでとござ
います。三年生との思い出がたくさんあり
ます。

まず一つ目は、運動会の前日準備です。
三年生が積極的に手伝ってくれました。そ
のおかげで、当日はとても楽しく、良い運
動会になりました。ありがとうございました。

二つ目は、クラブなどで、どうやったら
いいのかを悩んでいる時のことです。相談
したら具体的に教えてくれました。教えて
もらったことを実践したら、うまくプレー
することができました。ありがとうございました。

三年生の皆さんは、四月から新しい生活
が始まると思います。頑張ってください。



編集後記

寒さの中にも少しずつ春の気配を感じ
る季節となりました。

卒業を迎えた子どもたちは、これまでの
経験を通して、困難な場面でも立ち止まり
考え、相談し、前に進む力をつけてきたよ
うに感じます。うまくいったことだけでな
く、思うようにいかなかった経験も、これ
からの歩みを支える大切な糧になるはず
です。

在校生にとっても、この一年は仲間や大
人との関わり、日々の積み重ねの中で得た
学びを、次の学年、そして新しい生活へと
つなげてほしいと思います。

保護者・ご家族のみなさま、関係機関・
地域のみなさまには、日頃より温かいご理
解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
来年度も、子ども一人ひとりの成長に
寄り添っていけるよう、職員一同努めてま
いります。

編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理(庶務担当)

事務局

統括課長代理(福祉調整担当)

